

表1 寝床構成 (上段:回答実数, 下段:%)

季節	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
春秋	109 27.95	381 92	329 82	7 2	256 64	44 11	0	31 8	166 42	217 54	4	62 16	308 77	277 74	370 98	378 95
夏	78 20	368 92	243 63	0	245 61	11 3	109 27	328 82	174 45	23 6	0	15 4	40 10	52 13	370 98	375 94
冬	119 30	384 96	322 81	47 12	244 60	188 47	0	14 4	114 29	335 84	47 12	112 28	369 92	334 84	390 98	381 95

〔目的〕寝具類の管理および実態

を調査し、快眠できる寝床づくり

とともに寝具の衛生に関する一

資料を提供する。〔方法〕調査法:

質問紙法調査地域および対象:

1) マットレス 2) 敷布団 3) 敷布団カバー 4) 電気敷毛布 5) シーツ 6) 敷毛布 7) 寝具類
 8) タオルケット 9) 肌掛布団類 10) 掛毛布 11) 電気掛毛布 12) 毛布カバー 13) 掛布団
 14) 掛布団カバー 15) 枕 16) 枕カバー

山口県下関市、阿武郡(各140名); 宮

崎県都城市(120名)計400名。年齢30~

表2 寝具類の手入れ間隔

対象	2週間以内		2~4週間		1週間以上		1~2週間		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
乾	敷布団	278	70	81	20	洗	寝巻	326	82
	掛布団	231	58	106	27	シーツ	149	37	
	掛毛布	294	74	58	15	濯	カバー類	137	34
	毛布	254	64	92	23	タオル	106	27	
乾燥	敷布団	3	1	3	1	洗	寝巻	48	12
	掛布団	63	16	84	21	シーツ	153	38	
	敷毛布	155	39	144	36	濯	カバー類	145	36
わたの打直し	敷布団	3	1	3	1	洗	寝巻	102	26
	掛布団	63	16	84	21	シーツ	153	38	
	敷毛布	155	39	144	36	濯	カバー類	145	36

55才の主婦。調査期間: 昭57.10.13 ~ 昭58.2.21。(結果)季節別

の寝床構成は表1に示す通りで敷寝具は敷布団のみが高率

であり、冬はこれに敷毛布を夏は都城市で寝ごご類を敷く方

がとくに多く見られた。掛寝具は夏にタオルケットのみが春

秋又には掛毛布と掛布団の構成が多い。なお電気毛布使用者は

少なく、保温法は掛布団を一枚多くする。また納涼法は扇風機

を利用する。かたがた、購入上の注意点について、掛敷布団:「日光に干すと

ふくらみ打直しできる。2)毛布:「肌ざわりがよく、軽く、かさがある。3)シーツカ

バー類:「洗濯がしやすく、丈夫、等が1位であり、危険率1%以下。手入れの方法

は、1)掛敷布団わた、毛布、肌掛布団:「日光にあてて干す。2)布団側布地、タオルケット、カバー類、シ

ーツ、寝巻:「家庭で洗濯する。等が1位であり、危険率1%以下。なお手入れ間隔は表2に示す通り。